

SNAPSHOT

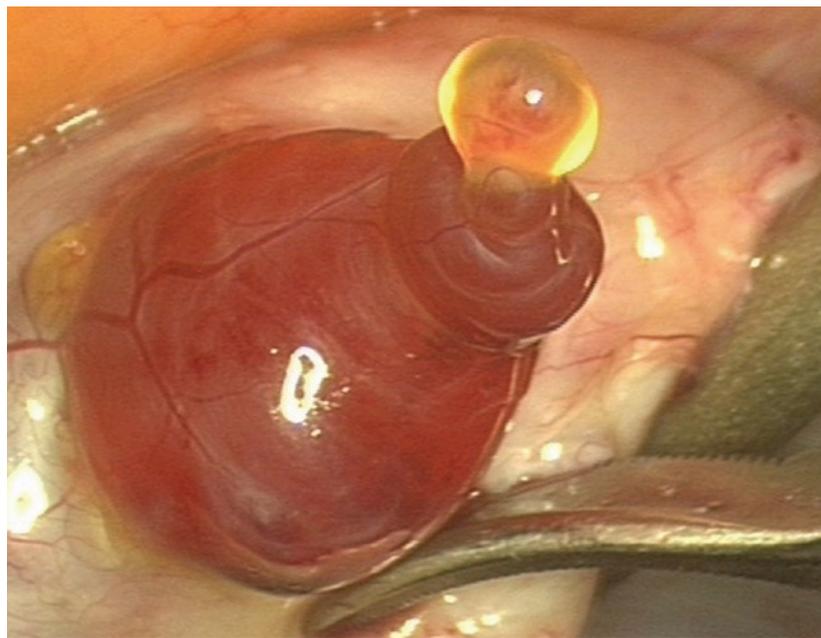
Out of the ovary

排卵の瞬間

Nature Vol.453 (965) / 19 June 2008

ヒトの卵巣から卵子が出てくる瞬間をカメラが捕らえた。この写真は、ブリュッセルのルーヴァン・カトリック大学の外科医 Jacques Donnez が 45 歳の女性の子宮摘出手術中に偶然撮影した連続写真の 1 枚であり、排卵の過程をこれまでで最も鮮明に映し出している。卵巣の表面からは、液体に満たされた赤い卵胞が顔を出しており、さらにこの卵胞から、黄色っぽい色をした卵子が出てきているのが見てとれる。

一部の理論では、排卵の際には卵胞が突然「破裂」するとされていたが、今回観察された排卵は、たっぷり 15 分かけてゆっくりと起きていた。ヒト



の排卵がこれほど詳細に観察されたのは今回が初めてであるが、妊娠可能な女性の体内では、少なくとも月に一度はこの現象が起きている。放出された卵母細胞は、卵管の中を子宮に向かって進んでいく。

この珍しい画像は、*New Scientist* 誌 6 月 11 日号に掲載され、*Fertility and Sterility* 誌上で発表される予定である (J.-C. Lousse and J. Donnez doi:10.1016/j.fertnstert.2007.12.049)。